

2022年第2回定例会

一般質問

朝霞市議会 YouTubeチャンネル
令和4年第2回定例会一般質問2日目(2時間27分47秒から)



1. 学校における医療的ケア児への支援

学校での医療的ケア 準備不足と不誠実対応を指摘

ほんだ: 学校が医療的ケア児への看護師配置をしていないという相談を受けた。早急に医療的ケア児を受け入れる体制構築、看護師配置をすべきだが、その取り組みは。

教育長: 保護者、学校、教育委員会、主治医等医療関係者で協議を重ね、お子さんの実態と保護者の希望を踏まえて対応する。また、看護師配置等に予算が必要であれば、教育委員会から財政課に要望していく。

ほんだの 視点

再三にわたり実施を求めてきた学校での医療的ケア児支援ですが、教育委員会の体制構築の不備、学校の不誠実な対応が明らかになりました。学校での医療的ケアは、法で市の責務とされています。引き続き体制整備を働きかけます。

2. 精神障害のある方が地域で暮らすために

精神障害のある方を支える 仕組みづくりと住まいの支援

ほんだ: 今年度から精神障害のある方への地域包括ケアを話し合う会議が開かれる。地域で暮らすための支援、医療との連携をどのように進めるのか。

福祉部長: 「親亡き後」の支援として本年4月に地域生活支援拠点等事業を開始し、精神包括ケア部会とは障害のある方の地域生活を支えるという共通点があり、情報共有をして進める。夜間や休日の緊急相談は、埼玉県精神科救急情報センターが電話で適切な助言と必要に応じて医療機関の紹介を行っている。

ほんだの 視点

障害のある方への相談支援の拠点となる基幹相談支援センターの設置に向けた検討を重ねるとの答弁がありました。3月議会で当時の福祉部長から「障害のある方が入所生活を望んでいる」というような発言がありましたが、行政の支援が不足しているために入所を選ばざるを得ない状況があると考えます。

3. 包括的な相談支援体制の基盤作り

市の個人情報の不適切利用が 明らかに～今後さらに追及へ

ほんだ: 市職員が不適切に個人情報を利用し、客観的事実を確認せず、手当の不正受給と決めてかかり、不適切な事務を進めて多額の返還金を市民に求めたと相談があった。今後の改善は。

こども・健康部長: 児童相談において総合的に情報収集する必要があるが、相談者の不利益が生じないか、情報の正確性を確保するため、対応する職員により差が出ることはないよう、判断チェックシート等の作成を検討したい。

ほんだの 視点

差別的対応によって、市職員から手当の不正受給を疑われ、多額の返還金を求められたと市民から相談がありました。担当課が客観的事実を確認せず、本人に手当受給の資格喪失届の記入を強要し、決済手続きに回していたことが発覚しました。人権侵害にあたる大問題です。不適切事務の問題に加えて、職員の人権侵害と差別的対応、個人情報の不適切利用について、引き続き調査し、9月議会でさらに追及していきます。

4. 動物の課題

保護猫活動の団体との連携 動物の課題解決を地域で

ほんだ: 地域猫への「餌やりさん」や地域住民とのコミュニケーションによる地域づくりが重要と保護猫活動団体からうかがった。団体と市の協力の現状は。また、鳩への餌やりの問題も生態系や野生生物への理解が重要だと考えるが、市の取り組みは。

市民環境部長: 職員も状況確認や同行してTNR制度の必要性を説明している。野生生物への正しいかわり方の啓発を行っていく。

※TNRとは…
Trap 捕獲する
Neuter 不妊手術
Return 元の場所に返す



5. 地域公共交通の課題

新たな公共交通導入へ 根岸台7丁目地域の取り組み

ほんだ: 根岸台7丁目地域に新たな公共交通を導入するために地域組織が立ち上がったが、その協議の進捗についてうかがう。

都市建設部長: 市のモデルルート案に加え、3つの自治会・町内会で構成する地域組織でもルート案を作成し、運行ルート等についてのアンケート調査が実施された。その結果、モデルルートの要望が多かったため、現在、ガイドラインに基づき運行計画の仮作成が進められる。

ほんだの 視点

根岸台7丁目地区に導入が検討されている公共交通は、乗る人がいて採算がある程度見込めてこそ実現します。地域で乗って支える交通になればと考えています。

ほんだまきことつながる活動①

クリーンセンター見学会

4月22日(金)に市民の方と朝霞市クリーンセンター見学会を開催しました。市のごみ処理や分別の様子を見学し、2028年度稼働開始を目指す和光市との共同ごみ処理施設の計画について職員から説明を受けました。

これからも市民の方と一緒に施設見学をしたり、施策の説明を受ける機会を作りたいと考えています。



ほんだまきことつながる活動②

地域猫セミナーに参加

4月29日(金)に、市内の保護猫活動団体のみなさまにお誘いいただき、地域猫セミナーに参加しました。講師の地域猫活動アドバイザー石森信雄さんによる「人と猫がほどよく一緒に暮らせる地域づくり」という視点でのお話に学ばせていただきました。このセミナーの学びを一般質問に活かしました。これからも市民の皆様と学び、お話をうかがう機会を作ります。

